～ 保護者･地域の有志と共に ～

調布五中　地域学校協働本部だより

2021.3

令和２年度　活動報告

地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ　石原･奥石

新型コロナウィルスの感染拡大の影響

昨年中国から発生した新型コロナウィルスのパンデミックによって、学校にも多大な影響を受け、新学期スタートから思いもよらない生活の変化を余儀なくされました。

- 入学式等の簡略化。新入生と参加できる保護者は一人、地域の来賓の参加は無し。
- 自宅待機中のオンライン授業の導入。
- 学年やクラスの時差登校の実施。
- 学校行事の延期や中止。　・　部活動は状況によって制限。
- 校内でのマスク着用義務や校舎内全域の消毒の徹底。　・　給食は黙食で。
- 公共交通機関を利用する校外活動の中止。
- 保護者をはじめ、学校関係者以外の人の校内への立ち入り制限。
- PTA の諸活動の休止。　・　外部団体の学校施設使用の中止。

ちょっと思い出すだけで、次々と列挙できますが、学校だけでなくひとりひとりの日常生活に目を向ければ、さらに多くの深刻な影響があることでしょう。ウィルスは感染拡大することによって次々と変異株が発生し、簡単には収束するものではないとのこと。長期戦に臨むには、体の健康だけでなく、心の健康も維持しなければなりません。こんな時だからこそ、一人で抱え込まずに助け合いたいものです。

花壇整備

ボランティアグループ「オアシス」が、四季の草花を植え替えたりするなど、花壇の整備を続けています。五中生のためにやっているのですが、校門の花々を見て癒されている地域の人たちもおられるのです。

地域学校協働本部の活動

今年度はあまりやれることがありませんでしたが、実施した事柄は以下の通りです。

- 美化支援のための花苗等の資材調達
- 英検の試験監督ボランティア実施
- 地域学校協働本部の定期的な協議会実施
- 部活指導員、指導補助員の紹介
- 学習支援員(学生ボランティア)の募集